

平成27年度西脇市健康づくり推進協議会記録

平成27年7月10日（金）

午後1時30分～午後2時45分終了

生涯まちづくりセンター2階会議室2

1 開 会

司会 : 健康課長

出席委員 : 12名

職員 : 高田くらし安心部長、塩崎健康課長、西山保険
医療課長、亀尾主査、西村主査、藤井主任

欠席委員 : 3名

傍聴者 : 1名

2 副会長あいさつ

3 報告・協議（議事進行：会長）

(1) 健康診査事業について（資料1参照）

ア 健康診査事業の現状について

- ・地域別受診率推移、他市町の受診率推移
- ・特定健康診査等受診率向上事業（電話・訪問勧奨）
- ・平成26年度の取組
モデル地区指導事業 和布町
健康増進啓発ポスター募集事業
- ・団体の取組（保健衛生、愛育班）

イ 今年度の取組について

- ・モデル地区指導事業（富吉上町・大木町）
- ・大腸がん検診（個別）
- ・歯周疾患健診（町ぐるみ健診）

（事務局から説明）

- ・上記内容について資料1を使って説明

委員：質問・意見なし

(2) その他保健事業について（事業報告・事業計画参照）

- ア 成人保健事業
- イ 母子保健事業
- ウ 予防接種事業
- エ 栄養改善事業

(事務局から説明)

- ・上記内容について事業報告・事業計画を使って説明

委員：質問・意見なし

(3) 地域医療を支える取り組みについて

- ・市民フォーラムの開催について

(事務局から説明)

- ・11月23日(月・祝)午後1時30分～3時30分まで市民会館大ホールで開催。参加依頼。

委員：医師会より11月23日に市民フォーラムを開催しますが、その前に、西脇市内の中学校4校を出前講座として医師会、地域医療を支える市民の会、小児医療を守る会、から講師を派遣し、講座(地域医療がどうやって守られてきたのか)を聞いてもらい感想文を書いてもらっています。その感想文の中から優秀作品を選びフォーラムで発表してもらっています。中学生が西脇市の医療の未来について考えていますので、たくさんの方の参加をお願いします。

(4) 新規事業について

- ・健康ポイント制度について
- ・食育セミナー(講演・朝ごはんレシピコンテスト入賞者表彰)
- ・乳幼児法定外予防接種助成について

(事務局から説明)

- ・上記内容について説明

委員：ポイント制度について、抽選ということですが、はずれがあるのでは、ポイントがたまれば何かを渡すような制度するほうが、意欲がわくのではないか。

事務局：はずれがあると非常に残念なので、すべての皆さんに何らかの景品(粗品)が当たるように考えています。去年のエコポイントでは、花の苗や業者からの提供品

をはずれ景品としていました。本年度は、エコポイントと同時開催を考えています。

委員：PRチラシの中で、はずれが無いことも、掲載したほうが良いのではないか。

委員：この制度に、何人ぐらいの参加を見込んでいますか。

事務局：この手帳を取得される方を500人と見込んでいます。手帳の取得方法は、チラシに書いてあるとおり市役所担当課や市の関連施設に置きますので取りに来てもらうこととなります。また、チラシについても各施設に置き、町ぐるみ健診やイキイキサロンなどイベントや事業で配ります。また、8月号広報で特集記事を掲載します。

委員：朝ごはんレシピコンテストについて、朝食の摂食率が低いとなっているが何から低いとなっているのか。

事務局：健康課で平成25年度に健康増進計画の作成時に、20歳以上で調査したときの平均が84.2%となっています。国や県の調査と比較しましても西脇市のほうが低かったという結果が出ています。

委員：84%が少ないととらえられていますか。

事務局：そのとおりです。また、20歳、30歳台が6割台と低く高齢になるほど高くなっています。子どもに対して朝ごはんを食べようと啓発していますが、成長期の子どもの親世代に、朝ごはん食べる習慣を持っていただけるようこの事業を行っています。

委員：朝は忙しいので食べないとか、コンビニで朝食を済ませるとかがある中で、コンビニではどのようなものを食べたらいいかとか、スーパーではどんなものを買ったらよいかとか、現在に合った食育が必要ではないか。

事務局：親の都合上コンビニで済ませる子どももいる。そんななかで、学校でもコンビニで何を買ったらよいかなど話をされているところもあります。今と昔では、食の形態も変わっています。

委員：高齢者に対してコンビニの宅配弁当も、出てきており、どんなものを食べたらいいかは重要だと思います。

委員：いずみ会からですが、幼稚園などへ行くことがあります。が、「朝ごはんを食べている子」と聞くとほとんどの子が手を上げます。しかし、「何を食べているの」と聞くと、「菓子パンやおやつ」という子がたくさんいます。

私たちは、ご飯を食べるよう勧めています。ご飯を食べると味噌汁がつき、そのなかには野菜も入ってきますのでバランスのとれた食事ができます。

委員：子どもだけでなく保護者に指導が大切ではないかと思う。学校で保護者が寄るときに機会を持ってはどうか。

委員：地域医療を支える市民の会ですが、私たちは、市内の幼稚園を中心に「命の大切さ」を知るということで紙芝居を行っています。幼児には、なかなか難しいかもしれませんが、小さい頃から「自分の命は自分で守る」ことを学ぶ事は大事だと思っています。

委員：黒田庄中学校ですが、本校では、3年生で朝食調査を行っています。92%となっています。家庭の事情もあり100%にはなりません。親御さんの意識は、朝ごはんをしっかり食べさせていこうという意識に変わってきています。学校では、オープンスクールなんかを利用して自分で弁当を作ろうという機会を作っています。このレシピコンテストについては、朝食の大切さを知るために、お家で家族と会話をしながら何かを作ろうということで、家庭科の先生中心にやっといこうと考えています。

委員：朝ごはんの摂食率も大事だが、内容も考えた食育を考えていくべきだと思う。

委員：乳幼児法定外予防接種助成について、多可町では、5歳児まで遡って助成している。西脇市においても年齢の拡大とB型肝炎ワクチンなど枠の拡大をお願いします。

委員：西脇病院からでございますが、7月25日（土）に病院フェスタを行います。講演会や健康チェックなどいろんなイベントを予定しています。皆さん参加をお願いします。

委員：西脇市は、グランドゴルフの愛好者が非常に多いが、場所が無い。3人か4人でもできる場所を作ってほしい。

(5) 意見交換

- ・ 受診率の向上について
- ・ 健康づくりについて

(事務局から説明)

・ 上記内容について依頼

委員：老人クラブ連合会では、グランドゴルフ大会なども実施していますが、会員が少なく大会に出場できない方もあります。役員の成り手がいない等の理由で会員数が減少しています。

委員：社会保険の方が神戸の病院で健診を受けている。地産地消のように地元の病院で受けることができないか。

委員：それについては、保険者と病院の契約であり、市は関与できない。

事務局：この制度は、国で決められるため、国への要望をしていく。

委員：平成25年からモデル地区事業を行っているが地区別の受診率を見ると上がる所や下がる所がある。方法を考えてはどうか。また、上郡町の受診率が高いのは、何処が違うのか。

事務局：モデル地区事業については、本年度は、富吉上町と大木町を計画しています。日野地区は、国保の診療レセプトから糖尿病の受診割合が高いことで、モデル地区に決定しました。

上郡町の受診率が高いのは、未受診者の方に毎年電話勧奨を行っています。西脇市も平成22年から1,700人電話勧奨を始めました。平成26年度は、業者委託により5,800人を、平成27年度は、3,000人を予定しています。

4 閉 会